

提 言 書

平成 23 年 3 月 11 日

穂 高 地 域 審 議 会

はじめに

安曇野市誕生から6年目を迎え、安曇野市民にとって重要な課題である本庁舎等の建設、土地利用制度、総合計画に掲げる事業の取り組み等安曇野市の将来都市像の実現に向けた基礎固めにご努力をいただいておりますことに、心から敬意を表します。

私たち穂高地域審議会は、その責任を深く認識する中で、様々な地域課題の一つひとつを市民の目線でしっかりと見つめ、学習と審議を重ねてきました。

第3期穂高地域審議会は第1期・第2期の審議経過を踏まえ、また合併にあたっての「新市建設計画（まちづくり計画）」、「新市将来構想」「合併協協議経過」を基に、さらに市の施策に関わる各種委員会等の経過と歩調をあわせ、審議・学習を開催してきました。

平成22年3月29日には、1年間の審議の経過を「平成21年度まとめ」として中間報告をしています。

第3期2年間の審議を終了するにあたり重要な地域課題として位置づけてきた次の3項目について、その審議結果を提言書としてまとめました。

この提言書は、穂高地域の資源を最大限活用し、良好な自然環境を維持しつつ、住民が将来への希望が持てる個性豊かなまちづくりを進めるため、市の建設計画に反映していただきますようお願いものです。

- (1) 本庁舎建設に伴う穂高総合支所のあり方について
- (2) しゃくなげ荘改築及び周辺整備について
- (3) 観光による地域の振興、地域づくりについて

平成23年3月11日

安曇野市長 宮澤 宗弘 様

穂高地域審議会
会長 腰原 基弘

地域の課題

1 本庁舎建設に伴う穂高総合支所のあり方について

穂高総合支所の現状は、昭和 47 年 9 月竣工で、38 年経過しており、耐震工事が必要であり、また給排水設備・空調設備及び電気設備が老朽化しており、長期使用する場合はテラスの防水・外壁等施設全体の改装が必要となります。

本庁舎建設後において現在の施設を利用する場合には支所機能としてこれだけの施設は必要なく、維持管理費の節減ができない状況です。

また、職員駐車場・来庁者駐車場及び公用車駐車場は借地であり、年間 1 千万円を越える借地料を支払っております。

穂高地域内の公共施設として、現穂高総合支所と穂高会館について長所・短所を考察しました。

- (1) 現穂高総合支所は昭和 29 年の穂高町合併前の旧穂高町当時から数十年にわたり市街地の中心的現位置に存在し、穂高地域の市民に慣れ親しんだ場所にある。現庁舎を解体し、規模を縮小した建物にすることにより、駐車スペースが拡大でき、維持管理費や駐車場の借地が解消され経費が節減できる。

また、穂高地域の中心であり交通の拠点である穂高駅から穂高神社・穂高総合支所を結ぶことにより、観光の情報発信をすると共に、穂高総合支所及び駐車場を活用して商店街の活性化が図れる。

- (2) 穂高会館については耐震・大規模改修工事が計画されているが、現在の空きスペースを活用し総合支所として利用することも検討したが、市民の利便性を考慮すると奥まった位置であり、市民にとっては利用しにくい点が上げられ、また、バリアフリー化の問題や各種大会等の開催時には駐車場の確保が困難であるとして、賛成が得られなかった。

以上の検討結果から現地改築が適当であると結論を得ました。穂高地域の市民感覚や施設の利用のし易さを考え、現在の総合支所の大会議室棟を利用し、また現在の庁舎については解体し、駐車場として活用することで将来的に維持管理費の大幅な削減が期待できると判断しました。

2 しやくなげ荘改築及び周辺整備について

昨年 7 月 21 日安曇野市宿泊施設等あり方検討専門委員会から、「市が所有する宿泊施設の今後のあり方について」の答申が市長に提出され、あり方検討専門委員会の結論では、しやくなげ荘については「廃止の方向で検討。建て替える場合でも、日帰り入浴にとどめる。なお、隣接の温泉健康館のあり方を合わせて検討。」となりました。

当審議会はこの答申を踏まえ審議した結果、しやくなげ荘というネームブランドを生かし、利用者が良質な温泉の魅力を十分に満喫できる入浴施設として改築し、また観光・交流のための周辺整備の策定に着手されたい。

(1) 改築にあたっては、良質な温泉としやくなげ荘を安曇野市の重要な資産と位置づけ、現在併設の温泉健康館を統合し、露天風呂をはじめ各種入浴設備と休憩・飲食提供を備えた日帰り利用の施設を検討されたい。

(2) 国営アルプスあづみの公園の中間に位置するしやくなげ荘周辺に滞在型観光を進めるため、周辺の Vif 穂高の増築や天蚕センターの移転集約化も含め、アートヒルズや小岩岳城址を結びつけたウォーキングコースを整備し、安曇野の観光拠点とするとともに、しやくなげ荘周辺を観光情報の発信地となるよう総合的な計画をされたい。

(3) しやくなげ荘周辺整備においては、通称山麓線を拡幅整備するよう県に強く要望されたい。

また、山麓地域の景観保全に努められたい。

3 観光による地域の振興、地域づくりについて

穂高地域は山岳、河川、田園の自然景観だけでなく、温泉や里山、寺社や美術館なども多く、観光的な資源にも恵まれています。安曇野市にとって観光は全市的な課題ですが、観光の中心的な役割を担っているのは穂高地域であることは確かなこととあります。観光は農商工の多種多様な業種で構成されることから、多数の人がさまざまな業務に携わっており、穂高地域の振興、地域づくりを進める上でもっとも論議すべき課題です。

また、観光を支えるものとして、農業と商店街の活性化は重要な要素であると考えます。

当審議会は地域の振興と活性化、地域づくりを大きなテーマと踏まえ、今回は、観光、農業、商店街の活性化について審議をし、以下のように提言をまとめました。

(1) 観光について

- ①穂高地域の観光についての課題の一つは、オリンピック道路沿いの大王わさび農場周辺から、穂高地域中心市街地、西部山麓地帯へ観光客をいかに誘導するかということである。そのためには商店街の振興・活性化と山麓地帯に温泉を活用した魅力ある施設の建設に取り組むことが必要です。
- ②もう一つの課題は、スムーズで安全な移動を可能にする東西道路の改良である。財政的に厳しいが、将来の投資として計画的に実施するよう要望します。
- ③旅行者にとっては、その土地の食べ物と土産物に対する関心は大きい。特産の食品、魅力ある土産物、ユニークなキャラクターグッズを作り出すことが重要です。
- ④滞在型観光への対策の一つは、「歩くこと」「自転車を使うこと」を推進することである。そのためには、いくつかの回遊コースを設定すること、ガイドを養成し案内をすること、農林業や芸術関係の体験講座を設けることなどを検討していく必要があります。
- ⑤旅行者にとって、名所、旧跡、風景だけではなく、その土地の暮らしや人々とのふれあいが印象に残るものである。観光関係者はもちろんであるが、旅行者に対するおもてなしの気持ちを住民も醸成するよう努める必要があります。

また、清掃が行きとどき、清潔感のある好感の持たれる地域にしていくことも大切であります。

- ⑥観光という、いわば総合的な産業においては、業者同士の団結、異業種間の連携、官・民が一体となって取り組むことが肝要である。イベントなどを実施する場合、住民を巻き込んで地域が一体となって事に当たる体制が大事である。そのためには、行政が先頭に立つことも必要です。

(2) 農業について

- ①安曇野の景観を特色づけるのは田園の風景であるが、遊休農地、耕作放棄地の増加は景観を損ない、観光にも不利な状況を生み出している。景観の確保のためにも、農業の振興、農地の保全、後継者の育成に格段の配慮と施策を講じていく必要があります。

- ②市民農園や滞在型農園、果樹・そば・米・蔬菜などのオーナー制など、農業体験を伴う仕組みを住民と協力して作り、食材と農業への理解を深める方策を検討されたい。
- ③農業の振興のために地産地消の一層の推進を図り、学校、病院、会社、福祉関係の給食の他、市内の宿泊・飲食業者にも地元の農産物を食材として使用するよう強力に要請します。
- ④農産物の特産化を図り付加価値を高め、ブランド化を目指す取組みを推進されたい。
- ⑤食品の安全性、健康な食習慣の形成に意識を高める上で、農産物がどのように生産されているかへの理解を深めるため、子供の頃からの食農教育に力を入れることが重要です。

*食農教育とは・・・「食」の大切さ、「食」を支える「農」の役割などに対する理解を広げ深める教育

(3) 商店街の振興・活性化について

- ①地元の商店振興のために、プレミアム商品券の発行を継続して行う。
- ②個性ある商品の開発、専門店の育成、空き店舗を活用したチャレンジショップへの支援策を実施する。
- ③あめ市、えびす講、朝市、夕市など定期的に市を開催する。
- ④商店街と穂高駅、穂高神社、碌山美術館などを結び付け、沿道景観を考慮し、きれいで・おしゃれなまちづくりに市民・商店などが協力し、歩いて楽しめるまちづくりを進める。
- ⑤商工会を中心に、住民・商店が中心市街地をどのようなまちにしていくなか、考えていく仕組みづくりに支援すべきです。

以上の内容を充分検討いただき、行政運営の基本である「市民との協働」を踏まえ、穂高地域の特徴を生かし、個性ある地域づくりの立案、執行を要望します。

穂高地域審議会開催状況

平成 21 年度

回数	開催日	審議内容
1	平成 21 年 4 月 28 日	○第 1 期 2 期穂高地域審議会答申、提言について ○今年度の一般会計の予算編成方針と重点事業及び地域課題である穂高地域の事業について
2	平成 21 年 5 月 25 日	○穂高クリーンセンター・山形村最終処分場視察 ○視察について意見交換
3	平成 21 年 7 月 15 日	○農業の現状と課題について（委員による発表と意見） ○商店街の現状と課題について（委員による発表と意見）
4	平成 21 年 9 月 17 日	○長野県・安曇野市の観光客の状況、周遊バスの利用状況について ○安曇野市の観光振興について（安曇野ブランド推進室長による説明と意見） ○観光振興の取り組みについて（安曇野市観光協会理事長による説明と意見）
5	平成 21 年 12 月 2 日	○生涯学習推進計画について（社会教育課から説明） ○景観計画（素案）について（建築住宅課から説明） ○地域づくりについて（委員による発表と意見）
6	平成 22 年 2 月 9 日	○災害時における穂高地域の危険箇所について（危機管理室から説明と意見） ○安曇野いきいき共生プランについて（市民福祉課から説明と意見）
7	平成 22 年 3 月 4 日	○土地利用管理制度について（都市計画課から説明） ○行政改革について（行政改革推進室から説明と意見） ○まとめについて検討する

平成 22 年度

回数	開 催 日	審 議 内 容
1	平成 22 年 5 月 11 日	○平成 22 年度予算関係について ○行政改革について ○本庁舎建設について ○その他
2	平成 22 年 6 月 2 日	○行政改革について（総合支所の組織及び分掌事務） ○その他
3	平成 22 年 6 月 28 日	○行政改革について（総合支所の組織及び分掌事務） ○その他
4	平成 22 年 7 月 16 日	○提言書（行政改革）取りまとめ ○その他
5	平成 22 年 8 月 26 日	○穂高総合支所について ○地域課題について ○その他
6	平成 22 年 10 月 15 日	○地域課題について ○その他 ○穂高地域出身の市議会議員との懇談会
7	平成 22 年 12 月 3 日	○本庁舎建設基本計画について ○しゃくなげ荘について ○その他
8	平成 23 年 1 月 13 日	○地域課題について（しゃくなげ荘と山麓地域の観光について、農業と商店街の振興について） ○その他
9	平成 23 年 2 月 4 日	○提言書素案取りまとめ ○その他
10	平成 23 年 3 月 1 日	○提言書取りまとめ ○その他

安曇野市穂高地域審議会委員名簿

会 長	腰 原 基 弘
副 会 長	川 上 佐貴子
委 員	河 村 佳 次(平成21年4月1日から平成22年3月31日)
委 員	小 幡 光 彦(平成21年4月1日から平成22年3月31日)
委 員	勝 野 正 道(平成22年4月1日から平成23年3月31日)
委 員	那 須 誠 (平成22年4月1日から平成23年3月31日)
委 員	野 中 由紀子
委 員	丸 山 康 子
委 員	勝 野 周 司
委 員	飯 沼 正 明
委 員	白 澤 亀 内
委 員	永 野 直 子
委 員	浜 地 真
委 員	濱 津 弘 幸
委 員	柴 田 洋 二
委 員	藤 原 正 三
委 員	丸 山 多加志

以上 15 人